

私の高校時代の新聞配達アルバイト

家庭の経済状況が厳しかったため、親に負担をかけまいと高校入学時から卒業までの3年間、新聞配達のアリバイトを始めました。

毎朝早起きして6時には配達を開始し、遅刻することなく責任を持ってやり遂げました。当時の新聞販売所では何種類かの新聞を扱っており、配達する順番に合わせて新聞を並べ、厚布で包んで抱えて配達しました。ネットでの宣伝のない時代であり、宣伝チラシは新聞の折り込みで行われており、元旦は新聞の部数と折り込みチラシの多さが印象的で、一度に運びきれない量でした。

雨や雪の日は特に大変で、各家庭には新聞箱や投入口がないため、玄関の戸の隙間に差し込む方法で配達を行いました。時には、どこか未配達の家が残り、確認のため苦労することもありました。新聞配達を通じて、責任感や努力の重要性を学びました。この経験は、私の高校生活においてかけがえのない成長の一環だったと感じています。